

ふくしまで

農業を

始めよう!

新規就農者
募集中!

Let's start farming in Fukushima!



(公財)福島県農業振興公社
就農支援課

<https://fnk-syunou.jp/>



福島県で農業しよう!
「ふくのう(fukunou)」

<https://start-fukuagri.jp/>



福島県農業の特徴

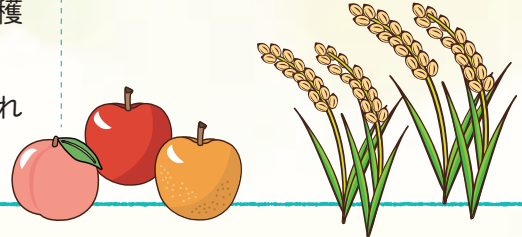
■ 気候や地形から中通り、会津、浜通りの3地域に分けられ、それぞれの自然条件を生かして多彩な作物が生産されています。

■ 米やきゅうり、トマト、ももなどの収穫量が全国上位です。

■ もも、りんご、なしの収穫量がいずれも全国6位以内の果樹王国です。

■ 東北地方の南端で首都圏に隣接し、交通の便に恵まれています。

■ 農業産出額は2024年には、2,874億円と全国では14位となりました。



福島県の多彩な農産物

various agricultural products

米

主な品種は「コシヒカリ」と「ひとめぼれ」で、その他に「天のつぶ」「里山のつぶ」「福、笑い」のオリジナル米が作られており豊かな風土で育った福島米は食味でも高い評価を受けています。

生産量
全国 5位

トマト

会津・中通りでは夏秋栽培、温暖な浜通りでは大型ハウスで年間を通して生産されており、南会津地区には多くの県外出身者が就農しています。

生産量
全国 8位

きゅうり

県内各地で栽培している福島県を代表する野菜。夏秋期の出荷量は全国1位です。

生産量
全国 4位

ブロッコリー

代表的な土地利用型の野菜で、県南や相馬地域を中心に栽培が拡大しています。

生産量
全国 11位

もも

全国生産量の2割を占める福島の桃。県北地方を中心に栽培。「あかつき」は献上桃としても有名です。

生産量
全国 2位

日本なし

福島の秋の味覚。品種は「幸水」や「豊水」、県オリジナルの「涼豊」など。中通り、浜通りで栽培しています。

生産量
全国 3位

アスパラガス

会津地域を中心に県内各地でハウス栽培も含めて生産されています。

生産量
全国 9位

宿根かすみそう

会津の山間地域が主産地です。特に昭和村は夏秋期の出荷量が全国1位です。

生産量
全国 2位

新規就農者の紹介

Introduction



夢は大きく。
東北一のトマト生産
を目指して

外島 涼さん
藤澤 翔吾さん

会津美里町に移住就農した外島涼さん(猪苗代町出身)と藤澤翔吾さん(栃木県宇都宮市出身)を紹介します。

二人は福島大学の先輩・後輩の間柄で、大学卒業後はそれぞれ別の職についていましたが、研究室のOB会などで顔を合わせていました。当時はコロナ禍で、これからの時代は技術が重要であると考え、外島さんが藤澤さんを誘い、移住に力を入れている会津美里町への移住を決意しました。この時点では農業に就くことは考えていませんでしたが、会津美里町で先輩移住者の話を聞くうちに、農業への新規参入には様々な支援があることを知り、令和5年4月から先進農家で就農準備資金を活用しながら研修を行い、令和7年4月に新規就農しました。

○就農してから苦労したことはありますか。

就農してから土づくりや明渠などのほ場準備、パイプハウスの組み

立てなど、全て自分たちで実施したため、かなりの重労働で苦労しました。今年はハウス4棟(10a)でスタートしましたが、栽培面ではやることなすことが裏目に出ることが多かったです。一方、施設の整備ではパイプハウスを全て中古で揃えることが出来たため、初期投資額を抑えることができました。

○なぜトマトで就農しようと思ったのですか。

たまたま研修先がトマトだったからでしたが、調べるうちにトマトで福島県でトップになれば東北一になれると思い、現在は「トマト生産で東北一」を目標に据えて、技術面の高度化と法人化に向けての準備を日々進めています。目標達成に向けて農業簿記やファイナンシャルプランナーの資格取得など、経理面や運営面の知識も深めています。

○これから就農を目指す人へのメッセージをお願いします。

人のアドバイスや話をそのまま鵜呑みにするのではなく、自分で調べたりして正しい情報を取り入れることが大切だと考えています。これから農業を始める人へは個人の体験談や感覚的な部分が、必ずしも自分たちに当てはまるとは限らないことを念頭に置いて情報収集をしてほしいと思います。

農業は今後伸びる業界だと思います。他の業種を経験して参入するメリットも多く、稼ごうたい人は参入して欲しいです。ただし、体力勝負のところもあるため、自信のない人は参入すべきでないとも言えます。やりがいや可能性を感じることでできる仕事ですので、農業の魅力をより多くの人に知ってもらいたいと思います。

農業を始めるのに大切な5つの要素

農業を始めるためには、技術を習得するとともに資金や農地等を確保することが必要です。
自分がやりたい農業のイメージを固め、関係者の支援も受けながら着実に進めていきましょう。

大切なこと 1 技術や ノウハウの 取得

- 農業経営者となるためには、少なくとも1年間は栽培管理技術や経営管理のやり方を身につけるための研修が必要です。
- 研修先は就農準備校や先進的な農家・農業法人、公的な研修機関等があります(資料参照)。
- 研修にあたり、要件が満たされれば公的な支援(就農準備資金)を受けることも可能です。

大切なこと 2 資金の確保

- 新しく農業を始める場合、農業機械やパイプハウス等の購入のほか、苗代や肥料代、農薬代など営農するための資金が必要です。
- 現金収入が入るようになるまでの生活資金も必要です。
- 必要な資金は、営農作目によって異なるため、営農計画や生活設計を綿密に立てながら積算することが大切です。
- 2024年の調査では、就農1年目に要した費用は、全国平均値で約896万円(機械施設:670万円、必要経費等:226万円)となっています。
- 認定新規就農者になれば経営開始資金を受けることや機械・施設等を導入する際に補助金を活用したり青年等就農資金(無利子)を借りることも可能です。

大切なこと 3 農地の確保

- 農地を借りる(買う)場合には、農地法や農業経営基盤強化促進法等の農地に関する法律に基づき許可等を受ける必要があります。
- 農地を借りる(買う)にあたっては、自分の目指す農業経営を明確化して、面積や日照状況、土壌条件、水の条件などを十分検討して選定しましょう。
- 新規就農者が自ら農地を探すことは難しいので、研修先の農家や市町村、JA、農地中間管理機構等の支援を受けながら探ることが大切です。

大切なこと 4 機械や施設の 確保

- 稲作は、一連の作業が機械化されており、畜産では畜舎建設、施設園芸ではハウス建設に相当な投資が必要となります。
- 新規就農者は、資金的に余裕がないのが一般的であり、当初は必要最小限の農機具や施設を購入し、中古やリース、借受等も活用しながら、経営が軌道に乗り始めてから徐々に装備を充実させていくほうが堅実です。

大切なこと 5 住宅の確保

- 農作物を適切に栽培管理していくために、住居はできるだけ農地に近いことが望ましいです。
- 住居は、就農先の市町村等関係機関、研修先の農家等を通じて探してもらうことが一般的です。(県内の各県地方振興局には、移住コーディネーターが配置されています。)
- 市町村によっては、県外からの移住者向けに公的な住居を用意しているところやリフォーム資金等を補助してくれるところもあります。

就農支援制度を活用して就農しよう!!

(令和8年4月 現在)

新規就農を目指す皆さんを対象に、様々な支援制度が設けられています。
上手に活用して円滑な就農に結びつけましょう。

就農のかたちには大きく分けて、次の3通りがあります。

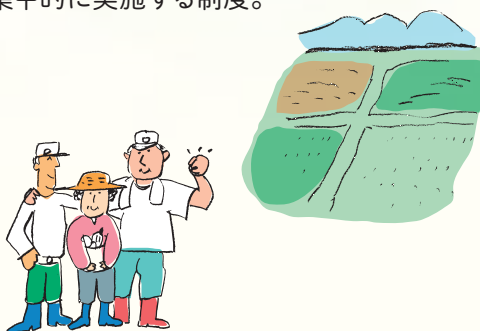
- 「独立・自営就農」:自分が独立して自営の農業を始める。
- 「親元就農」:親や祖父母と一緒に営農していく。
- 「雇用就農」:農業法人等に就職し、従業員として農業を行う。

1. 青年等就農計画制度

- 新たに農業を始める方(独立・自営就農者)が、作成する青年等就農計画を市町村が認定し、認定を受けた「認定新規就農者」に対し、経営安定に向けたメリット措置を集中的に実施する制度。

認定新規就農者のメリット

- 青年等就農資金(無利子融資・限度額3,700万円)
- 新規就農者育成総合対策(経営開始資金・経営発展支援事業)
- 認定新規就農者への農地集積促進(利用権の設定等)
- 農業者年金保険料の国庫補助(青色申告者に限る)等

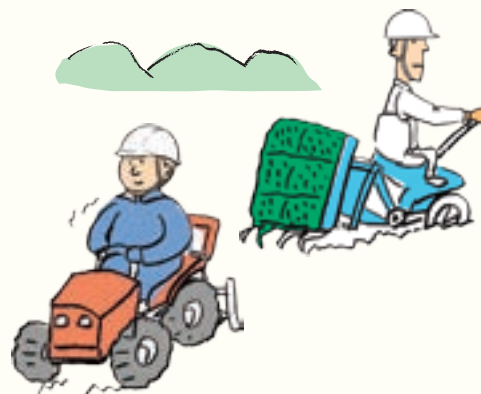


2. 新規就農者育成総合対策(資金面の支援)

就農前(研修の実施)	就農後(営農開始)
就農準備資金 <ul style="list-style-type: none">●就農前の研修期間、1年につき1人あたり165万円を交付●交付期間は最長2年間(海外研修で1年延長)●研修終了後1年以内に原則50歳未満で就農することが必要(年令下限はなし)●県が認めた研修機関で研修を受ける就農希望者に対し交付(県内各地に152ヶ所所有)●原則として前年の世帯全体の所得が600万円以下 [資金交付主体:福島県農業振興公社]	経営開始資金 <ul style="list-style-type: none">●就農後最長3年間交付●交付金の額は165万円/年(夫婦では1.5倍額)●原則として前年の世帯全体の所得が600万円以下●独立・自営就農者で就農時の年齢が、原則50歳未満の認定新規就農者が対象●「青年等就農計画」の認定を受けていることや「地域計画」への位置付け等の要件がある [資金交付主体:各市町村]

3. 新規就農者育成総合対策(機械・施設等の整備への支援)

経営発展支援事業(通常枠)
(機械・施設、家畜導入、果樹・茶改植、リース料等が対象) 対象者:認定新規就農者 (就農時49歳以下・令和7年度以降が対象) 支援額:補助対象事業費上限1,000万円 (経営開始資金の交付対象者は上限500万円) 補助率:県支援分の2倍を国が支援 (国の補助上限1/2 <例>国1/2、県1/4、本人1/4) ※本人分の1/4は、融資を受けること
[資金交付主体:各市町村]



就農に向けた資金確保のポイント

新しく農業を始める場合、農地の購入や賃借、施設の建設、農機具の購入等設備投資資金や肥料、農薬種苗など営農に必要な資金の準備が必要です。また、現金収入があるまでの生活資金の準備も必要です。

自己資金

自分のやりたい農業をどのような規模で行うかなどを明確にして、営農計画と生活設計を綿密に立て、できる限り自己資金を活用することが大切です。

青年等就農資金

認定新規就農者を対象に、日本政策金融公庫から無利子で貸し出される資金です。農業経営の開始に必要な機械や施設の取得等(農地等の取得は除く)のために利用できます。

認定新規就農者になるには、市町村から青年等就農計画の認定を受ける必要があります。

項目	内容
資金の使途	施設・機械、果樹・家畜、経営費等
返済期間	17年以内(うち据置期間5年以内)
融資限度額	3,700万円(特認1億円)
利率(年)	無利子
担保・保証人	実質的な無担保、無保証人

その他制度資金

国や地方公共団体は、政策金融公庫資金、農業近代化資金など法律に基づき「長期で低利」な資金を数多く設けています。

就農1年目の平均費用と自己資金(新規参入者)

(単位:万円)

販売金額 第1位の作物	営農面					生活面	就農1年目 農産物 売上高
	機械施設等 (A)	種苗肥料 燃料等(B)	費用合計 (A+B)	自己資金 (C)	差額 (C-(A+B))	自己資金	
新規参入者計	670	226	896	281	△619	184	354
水稲・麦・豆	662	222	884	280	△604	131	352
露地野菜	371	143	515	252	△263	163	201
施設野菜	996	274	1,270	293	△977	207	523
花き・花木	672	189	861	290	△571	243	261
果樹	418	153	571	267	△305	185	200
酪農	2,760	1,956	4,716	858	△3,858	224	2,878
その他畜産	1,107	472	1,579	317	△1,262	113	338
その他	245	122	367	157	△210	170	136

新規就農者の就農実態調査結果(2024年・全国新規就農相談センター)より

福島県が認めた認定研修機関 認定された研修機関で安心して就農研修が受けられます!!

(令和8年3月26日現在)

No.	研修機関	所在地、研修地等	主な研修品目	No.	研修機関	所在地、研修地等	主な研修品目	No.	研修機関	所在地、研修地等	主な研修品目
1	福島県農業総合センター (農業短期大学校、果樹 研究所)	矢吹町(農業短期大学校) 福島市(果樹研究所)	果樹、 野菜(施設、露地)、 花き、水稲、畑作物、 畜産、有機農業	10	法人・団体	福島市	モモ、リンゴ、ブドウ	21	個人	福島市	モモ、リンゴ、ブドウ
2	郡山市園芸振興センター	郡山市	トマト、アスパラガス、 トルコギキョウ、 キュウリ	11	個人	福島市	モモ、リンゴ、ブドウ	22	個人	福島市	モモ、ブドウ、リンゴ
3	くみにみ農業ビジネス 訓練所	国見町	ミニトマト、 トウモロコシ、 キュウリ、枝豆、 ナス、タマネギ	12	JA全農福島	福島市(本部) 郡山市(栽培施設)	菌床しいたけ	23	個人	福島市	モモ、ブドウ、リンゴ
4	個人	福島市	トマト、ズッキーニ、 パプリカ、ニンジン	13	法人・団体	福島市	モモ、リンゴ	24	個人	福島市	モモ、リンゴ、オウトウ
5	個人	福島市	キュウリ、トマト	14	個人	福島市	キュウリ、ネギ	25	法人・団体	福島市	モモ、リンゴ、ブドウ
6	法人・団体	福島市	キュウリ、ネギ	15	個人	福島市	トマト	26	個人	福島市	キュウリ、コマツナ、 ホウレンソウ
7	個人	福島市	イチゴ、ニンジン	16	個人	福島市	小ギク、シャクヤク、 葉ボタン	27	個人	福島市	キュウリ、 ホウレンソウ、キャベツ
8	個人	福島市	オウトウ、モモ、リンゴ	17	個人	福島市	キュウリ、たらのめ、 葉物類	28	個人	福島市	トマト、モモ、ナス、 リンゴ
9	個人	福島市	モモ、リンゴ、ブドウ	18	個人	福島市	キュウリ、ネギ、 シュンギク	29	個人	福島市	キュウリ、シュンギク、 水稲
				19	個人	福島市	小ギク	30	個人	福島市	オウトウ、モモ、リンゴ
				20	法人・団体	福島市	小ギク、シャクヤク、 リンドウ	31	法人・団体	福島市	アスパラガス

No.	研修機関	所在地、研修地等	主な研修品目
32	法人・団体	福島市	オウトウ、モモ、ナシ、リンゴ、ブドウ、カキ、西洋ナシ
33	法人・団体	福島市	モモ、リンゴ、ナシ、オウトウ、ブドウ、水稲
34	個人	福島市	ミニトマト、葉物類(施設)、スナップエンドウ
35	法人・団体	福島市	水稲
36	法人・団体	二本松市	有機野菜(キュウリ、ピーマン、トマト、コマツナ、ホウレンソウ等)
37	個人	二本松市	キュウリ
38	個人	二本松市	キュウリ
39	個人	二本松市	施設花き(スプレーマム)、露地花き(アスター、ヒマワリ)、花木類
40	個人	二本松市	有機露地野菜
41	個人	二本松市	リンゴ、オウトウ、ブドウ
42	法人・団体	二本松市	施設・露地野菜(キュウリ、トマト、ナス、ピーマン等)、水稲、リンゴ
43	個人	二本松市	キュウリ
44	法人・団体	二本松市	イチゴ
45	個人	伊達市	ブドウ
46	個人	伊達市	モモ、ブドウ
47	個人	伊達市	キュウリ、カキ
48	個人	伊達市	キュウリ、ニラ
49	個人	伊達市	モモ、リンゴ
50	個人	伊達市	キュウリ、シュンギク、スナップエンドウ
51	個人	本宮市	水稲、ミニトマト、ネギ
52	個人	本宮市	水稲、キュウリ、ミニトマト、シュンギク
53	法人・団体	桑折町	モモ、カキ、リンゴ
54	個人	桑折町	モモ
55	個人	国見町	モモ、水稲、肉用牛(繁殖和牛)
56	個人	川俣町	トルコギキョウ、水稲、ホウレンソウ
57	法人・団体	川俣町	アンズリウム、ヒマワリ、ストック、イチゴ苗、イチゴ
58	個人	大玉村	キュウリ
59	個人	郡山市	ナシ、ブドウ
60	個人	郡山市	キュウリ
61	個人	郡山市	トウモロコシ、ニンジン、タマネギ
62	JA全農福島 サンシャイントマト 出荷協議会	郡山市(所在地) いわき市、楡葉町 (研修地)	トマト、ミニトマト
63	法人・団体	郡山市	シクラメン、ゼラニウム、マーガレット
64	法人・団体	郡山市	トマト、ミニトマト
65	法人・団体	郡山市	枝物類、トルコギキョウ、露地花き
66	法人・団体	郡山市	水稲、大豆
67	個人	郡山市	トマト
68	法人・団体	須賀川市	イチゴ、大葉、リンゴ
69	法人・団体	須賀川市	水稲
70	法人・団体	須賀川市	キュウリ
71	JA夢みなみ すかがわ岩瀬地区 野菜協議会	須賀川市	キュウリ
72	個人	須賀川市	モモ、ナシ、西洋ナシ

No.	研修機関	所在地、研修地等	主な研修品目
73	(株)JA和牛ファーム 福島さくら	田村市	和牛繁殖
74	たむらの新・農業人 サポート協議会	田村市、三春町、小野町	ピーマン、ブロッコリー、ホウレンソウ、フィトウ、トマト、スナップエンドウ、コマツナ、キュウリ、カブ、ニンニク、肥育牛、酪農、クワ類、リンドウ
75	法人・団体	鏡石町	キュウリ、水稲、ミニトマト
76	法人・団体	石川町	リンゴ、モモ、ナシ
77	法人・団体	古殿町	水稲
78	法人・団体	白河市	水稲、白菜、キャベツ、ネギ、タマネギ
79	個人	白河市	アスパラガス
80	法人・団体	白河市	ナシ
81	法人・団体	白河市	ユリ
82	個人	白河市	ナシ
83	法人・団体	西郷村	葉物類、キャベツ、タマネギ
84	JA夢みなみ しらかわそさい部会	中島村	トマト
85	法人・団体	矢吹町	夏秋トマト、高糖度トマト
86	JA東西しらかわ いちご専門部会	棚倉町	イチゴ
87	法人・団体	矢祭町	イチゴ
88	法人・団体	矢祭町	水稲、ブルーベリー、ウメ、ユズ
89	法人・団体	矢祭町	鉢花(カーネーション、シクラメン、ポインセチア、シュウメイギク等)
90	法人・団体	埴町	肥育牛、繁殖牛
91	(株)JA東西しらかわ グリーンファーム	埴町	和牛繁殖
92	法人・団体	埴町	キュウリ、イチゴ、水稲
93	個人	会津若松市	水稲、ナス、枝豆、ジャガイモ、カボチャ、葉物野菜
94	JA会津よつば あいづ西部 アスパラガス生産部会	会津若松市	アスパラガス
95	個人	会津若松市	水稲、ネギ
96	個人	会津若松市	ミニトマト、水稲
97	個人	会津若松市	水稲、枝豆、ブドウ、モモ
98	個人	会津若松市	有機野菜(キュウリ、カボチャ、サトイモ、ジャガイモ、枝豆等)、リンゴ、水稲
99	個人	会津若松市	枝豆、水稲、トマト、ニンジン
100	個人	会津若松市	トマト
101	法人・団体	会津若松市	水稲、ネギ、キャベツ、トウモロコシ
102	法人・団体	喜多方市	水稲、アスパラガス
103	法人・団体	喜多方市	水稲、ネギ
104	法人・団体	喜多方市	キュウリ、水稲、菌床しいたけ、たらのめ、雪下キャベツ
105	法人・団体	喜多方市	水稲、キュウリ、菌床しいたけ
106	法人・団体	喜多方市	水稲、アスパラガス
107	法人・団体	喜多方市	水稲、キュウリ、トマト
108	法人・団体	喜多方市	水稲、肉用牛(繁殖、肥育)
109	個人	喜多方市	有機野菜(ミニトマト、コマツナ、ニンジン)
110	法人・団体	喜多方市	水稲、ミニトマト
111	個人	喜多方市	アスパラガス(施設)
112	法人・団体	喜多方市	肉用牛(繁殖)、水稲

No.	研修機関	所在地、研修地等	主な研修品目
113	個人	北塩原村	キュウリ
114	法人・団体	北塩原村	水稲、夏秋キュウリ
115	法人・団体	西会津町	水稲、ソバ
116	法人・団体	西会津町	水稲、ソバ
117	個人	西会津町	キュウリ、水稲、ソバ、野菜苗
118	個人	西会津町	有機トマト、有機メロン、水稲
119	法人・団体	磐梯町	菌床しいたけ、花苗・野菜苗
120	個人	磐梯町	水稲、トマト、水耕リーフレタス、コマツナ
121	法人・団体	猪苗代町	水稲、ソバ
122	個人	猪苗代町	トマト
123	JA会津よつば ばんだいトマト 生産部会	猪苗代町	トマト
124	個人	猪苗代町	トマト、水稲
125	個人	猪苗代町	水稲、ブルーベリー、ブドウ
126	個人	会津坂下町	ブドウ、カキ、ブルーベリー
127	個人	会津坂下町	肉用牛(繁殖、肥育)
128	個人	会津坂下町	キュウリ
129	昭和かずみ草 振興協議会	柳津町、三島町、金山町、昭和村	宿根カスミソウ
130	個人	会津美里町	キュウリ、ダイコン
131	法人・団体	会津美里町	トマト
132	法人・団体	会津美里町	有機栽培(水稲、野菜、その他)
133	法人・団体	会津美里町	水稲、ソバ、大豆、小麦
134	南会津地方 花き振興協議会	下郷町、只見町、南会津町	宿根カスミソウ、リンドウ
135	JA会津よつば 南郷トマト生産組合	下郷町、只見町、南会津町	トマト
136	JA会津よつば 会津田島アスパラ部会	南会津町	アスパラガス
137	相馬市	相馬市	ナシ、キウイフルーツ、イチゴ
138	個人	相馬市	ブロッコリー、サトイモ、鶏卵、キャベツ、ネギ、トウモロコシ、ナス、ピーマン、レタス、白菜、タマネギ、スナップエンドウ、水稲
139	JAふくしま未来 そうま地区本部	南相馬市	キュウリ
140	南相馬市 みらい農業学校	南相馬市	野菜(キュウリ、トマト、サツマイモ等)、麦、大豆
141	広野町	広野町	水稲
142	法人・団体	広野町	有機水稲、水稲、大豆、タマネギ、ブロッコリー
143	浪江町	浪江町	トルコギキョウ、カラー、ストック
144	法人・団体	いわき市	トマト、水稲
145	個人	いわき市	露地野菜(サトイモ、ブロッコリー、キャベツ等)、施設野菜(ピーマン、トマト)
146	法人・団体	いわき市	有機栽培(水稲、露地野菜)
147	JA福島さくら いわき梨部会	いわき市	ナシ
148	法人・団体	いわき市	フェイスコア、イチジク、リンドウ
149	個人	いわき市	イチゴ
150	法人・団体	いわき市	肉用牛(繁殖、肥育)
151	JA福島さくら いわきねぎ部会	いわき市	ネギ、水稲
152	法人・団体	いわき市	水稲、露地野菜(カボチャ、ダイコン、ニンジン)

福島県の新規就農相談窓口
～福島県農業経営・就農支援センター～

県域の新規就農相談窓口、
もしくはお近くの農林事務所にご相談ください。
親身に対応いたします!

▼新規就農相談窓口【県域】

名称	所在地	電話番号	備考	
福島県農業経営・ 就農支援センター 「ワンストップ・ ワンフロア」 就農・定着から経営発 展まで一貫した支援を 行います。	福島県農業担い手課 福島県農業協同組合中央会 (JA福島担い手サポートセンター) ふくしま農業求人サイト「みつかる農しごと」 福島県農業会議 新規就農者育成総合対策(雇用就農資金) 福島県農業振興公社 新規就農関係全般 新規就農者育成総合対策(就農準備資金)交付主体	福島市中町8-2 自治会館内 1F 024-521-8676 070-8801-4423 FAX 024-521-7437 メールアドレス center@fnk-syu nou.jp	受付時間(平日) 8:30～17:15	
	就農コーディネーター(県北担当)	福島市杉妻町2-16	070-8801-4416	受付時間(平日) 9:00～17:00
	就農コーディネーター(県中担当)	郡山市麓山1-1-1 (令和8年度中に変更予定)	070-8801-4417	受付時間(平日) 9:00～17:00
	就農コーディネーター(県南担当)	白河市昭和町269	070-8801-4418	受付時間(平日) 9:00～17:00
	就農コーディネーター(会津担当)	会津若松市追手町7-5	070-8801-4419	受付時間(平日) 9:00～17:00
	就農コーディネーター(南会津担当)	南会津町田島字根小屋甲4277-1	070-8801-4420	受付時間(平日) 9:00～17:00
	就農コーディネーター(相双担当)	南相馬市原町区錦町1-30	070-8801-4421	受付時間(平日) 9:00～17:00
	就農コーディネーター(いわき担当)	いわき市平字梅本15	070-8801-4422	受付時間(平日) 9:00～17:00

▼新規就農相談窓口【地域】

名称	所在地	電話番号	備考	
県北農林事務所	農業振興普及部 ※ 伊達農業普及所	福島市杉妻町2-16 伊達市保原町大泉字大地内124	024-521-2609 024-575-3181	福島市、川俣町 伊達市、桑折町、国見町
	安達農業普及所	二本松市金色424-1	0243-22-1127	二本松市、本宮市、大玉村
	農業振興普及部 ※ 田村農業普及所	郡山市麓山1-1-1 (令和8年度中に変更予定) 三春町大字熊耳下荒井176-5	024-935-1310 0247-62-3113	郡山市 田村市、三春町、小野町
県中農林事務所	須賀川農業普及所	須賀川市芦田塚203-17	0248-75-2180	須賀川市、鏡石町、天栄村、石川町、 玉川村、平田村、浅川町、古殿町
	農業振興普及部 ※	白河市昭和町269	0248-23-1565	白河市、西郷村、泉崎村、中島村、 矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村
会津農林事務所	農業振興普及部 ※ 喜多方農業普及所	会津若松市追手町7-5 喜多方市松山町鳥見山字下天神6-3	0242-29-5306 0241-24-5743	会津若松市、磐梯町、猪苗代町 喜多方市、北塩原村、西会津町
	会津坂下農業普及所	会津坂下町大字見明字南原881	0242-83-2112	会津坂下町、湯川村、柳津町、 会津美里町、三島町、金山町、昭和村
	// 金山普及所	金山町大字川口字上町656-1	0241-54-2801	金山町、昭和村
	農業振興普及部 ※ // 南郷普及所	南会津町田島字根小屋甲4277-1 南会津町山口字村上842	0241-62-5264 0241-72-2243	南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町
相双農林事務所	農業振興普及部 ※ 双葉農業普及所	南相馬市原町区錦町1-30 富岡町小浜481	0244-26-1149 0240-23-6474	相馬市、南相馬市、新地町、飯舘村 広野町、檜葉町、富岡町、川内村、 大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村
	農業振興普及部 ※	いわき市平字梅本15	0246-24-6162	いわき市

注：※の農業振興普及部には、「就農コーディネーター」を配置しています。

JAグループ福島でも相談対応を行っています。

JAふくしま未来(福島地区・伊達地区・安達地区・そうま地区)、JA福島さくら(郡山地区・たむら地区・いわき地区・ふたば地区)、JA夢みなみ(すかがわ地区・しらかわ地区・いしかわ地区)、JA東西しらかわ、JA会津よつば(みなみ地区・あいづ地区・いいで地区・みどり地区)